



セブン銀行

平成29年3月期  
第3四半期決算説明資料

平成29年2月

ハイライト	2頁
損益状況【単体・連結】	3頁
損益状況【単体】	4頁
ATM事業の状況【単体】	5頁

口座関連の状況【単体】	6頁
子会社の状況	7頁
トピックス	8頁
配当政策	9頁

※決算発表資料は、当社Webサイトからもご覧いただくことができます。  
 (<http://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/>)

本資料には、株式会社セブン銀行、及びその連結子会社の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社、及びその子会社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

## 《 単体 》

- 当第3四半期は、増収増益

経常収益	858億円	(前年同期比	+2.5%)
経常利益	304億円	( 同	+0.7%)
純利益	209億円	( 同	+4.1%)

## 《 連結 》

- 当第3四半期は、収益・利益共に増加を確保

経常収益 923億円、純利益 196億円

\* 連結の純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益

## 《 配当政策 》

- 期末配当予想を従来の4.25円から4.75円（年間9.00円）に増配

《 セブン銀行単体 》

（単位：億円）

	2015年度 第3四半期	2016年度 第3四半期	前年差異	2016年度 計画
経常収益	837	858	21	1,138
経常費用	535	554	19	743
経常利益	302	304	2	395
純利益	201	209	8	272

《 連結 》

（単位：億円）

	2015年度 第3四半期	2016年度 第3四半期	前年差異	2016年度 修正計画
経常収益	909	923	14	1,223
経常費用	619	634	15	850
経常利益	289	289	0	372
純利益	192	196	4	253

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート:1米ドル

2015年度第3四半期 = 120.98円、2016年度第3四半期 = 108.57円

2016年度計画 = 108.79円

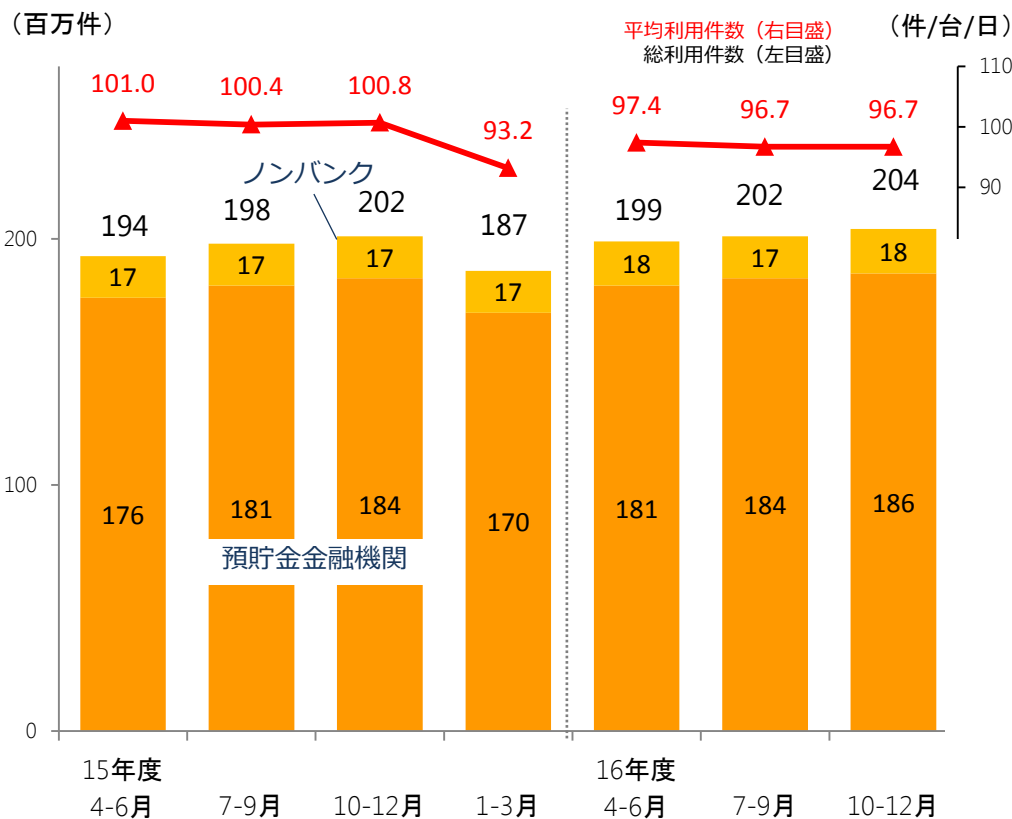
注4) 連結の純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：億円)

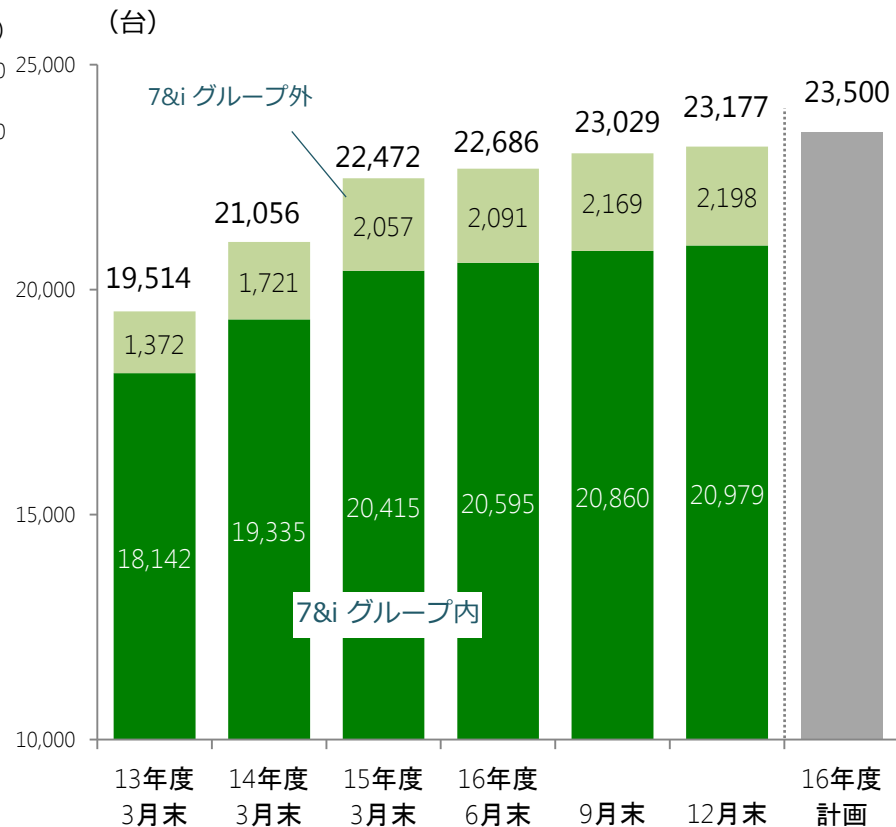
	2015年度 第3四半期実績	2016年度 第3四半期実績	前年差異	2016年度 計画
<b>経常収益</b>	837	858	21	1,138
うちATM受入手数料	777	789	12	1,042
<b>経常費用</b>	535	554	19	743
<b>経常利益</b>	302	304	2	395
特別損益	△1	△1	0	△1
法人税等合計	99	93	△6	121
<b>純利益</b>	201	209	8	272
<b>EBITDA</b>	432	435	3	573
期末ATM設置台数 (台)	22,018	23,177	1,159	23,500
平均利用件数 (件/台/日)	100.7	96.9	△3.8	95.8
総利用件数 (百万件)	595	606	11	800

注) EBITDA=経常利益+減価償却費

## 利用件数の推移

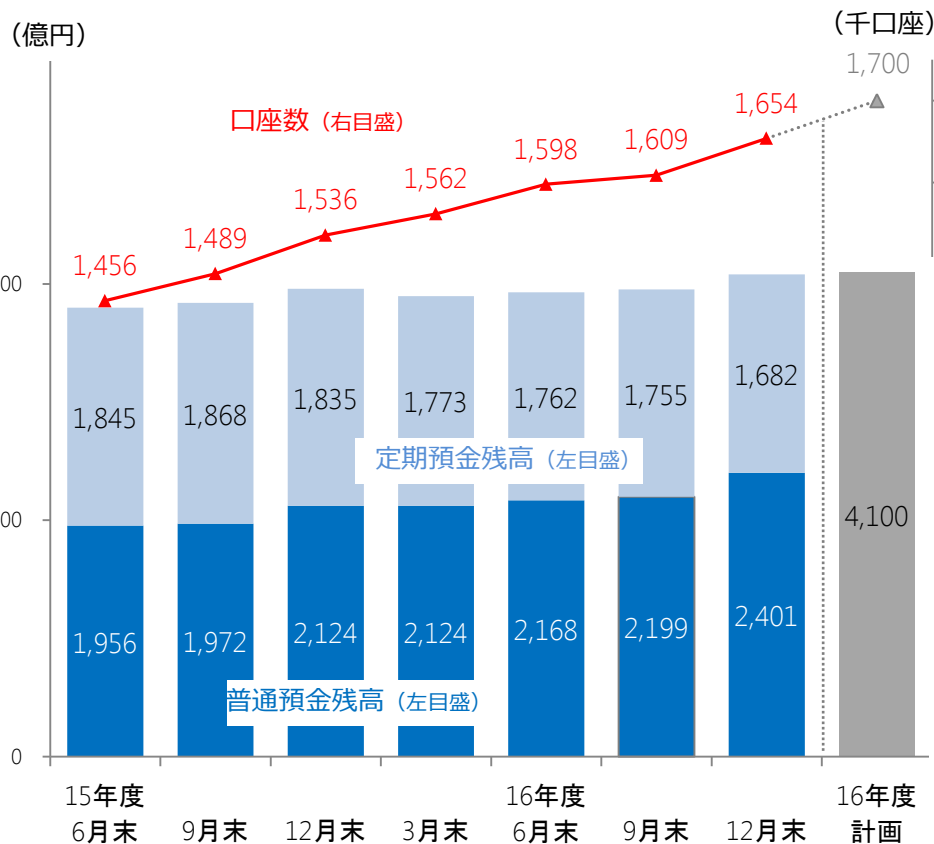


## ATM台数の推移

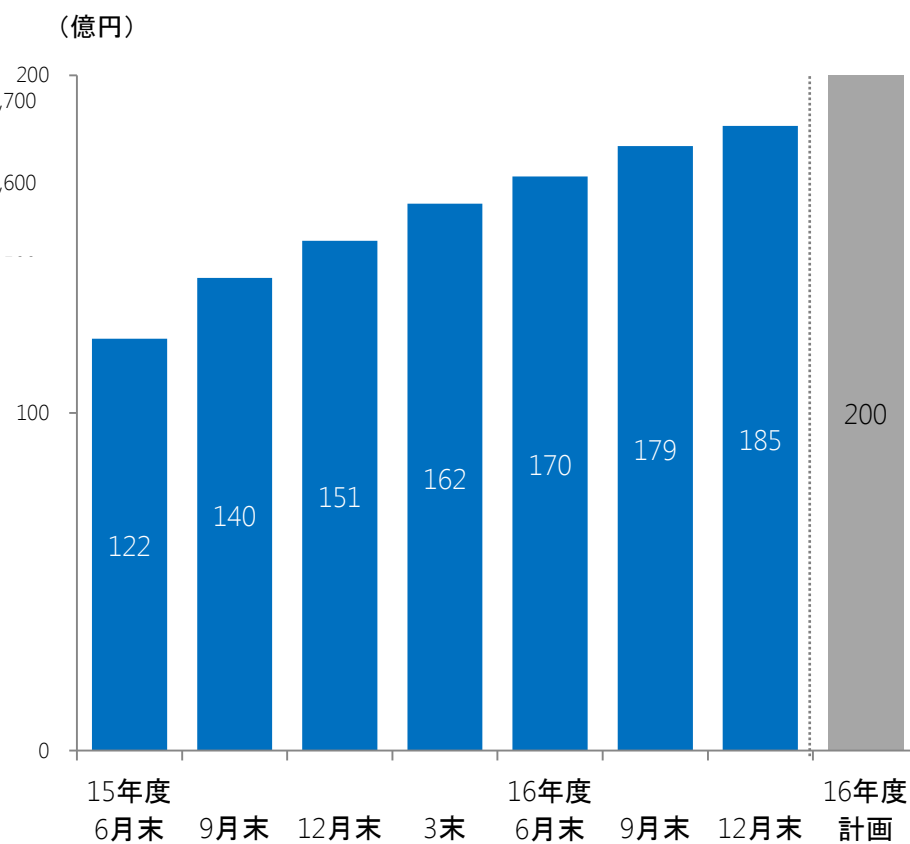


注1) 平均利用件数、総利用件数は残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず  
 注2) 本資料におけるノンバンクは、海外発行カード、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社等の合計

## セブン銀行預金 (個人) の状況



## 個人ローンの状況



## 海外送金サービスの状況

(単位: 千件)

	2015年 4月~12月	2016年 4月~12月	2016年度 計画
送金件数	604	738	980

## 海外子会社（北米）

### ■ FCTI, Inc.

#### 主要計数

（単位：百万米ドル）

	2015年度 第3四半期 実績(1月~9月)	2016年度 第3四半期 実績(1月~9月)	前年差異	2016年度 計画
	経常収益	59.4	59.4	0.0
経常費用	60.4	63.0	2.6	82.0
経常利益	△0.9	△3.6	△2.7	△2.1
純利益	△0.8	△2.4	△1.6	△1.6
EBITDA	3.9	1.7	△2.2	5.0

ATM（台）	6,375	6,267	△108	6,700
--------	-------	-------	------	-------

注）2016年12月末のATM台数は6,227台

米国セブン-イレブン店舗への設置（2017/7～開始）  
に向けシステム面・運用面の先行投資（経常費用増）  
を一部前倒し実施

## 海外子会社（インドネシア）

### ■ PT.ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL

- ATM設置台数は127台（2016年12月末）  
現地金融機関からのATM運営受託開始、更なる事業拡大を目指す

## 国内子会社

### ■ 株式会社バンク・ビジネスファクトリー

- 外部事務受託先は5社（2016年12月末）  
ニーズに応じ受託業務範囲拡大を検討



## ATMプラットフォーム事業

■ スマホによるATM取引を開始

- ・ ICカード利用時と同水準の高いセキュリティ
- ・ ほぼ全てのスマホで利用可  
(iOS・アンドロイド両OSに対応)

<サービス開始予定>

2017年 3月：じぶん銀行

2017年 春：LINE Pay（新規提携）

既提携先だけでなく、今後決済分野に参入する  
様々な事業会社にもサービス提供を順次拡大

<スマホ取引イメージ（出金取引）>

1. ログイン	2. アプリで取引選択	3. ATM操作開始	4. 紙幣の受け取り
 <p>アプリを立上げ ログインします</p>	 <p>ATMボタンを押し、 出金選択&amp;金額入力 ⇒ カメラが起動</p>	 <p>ATMの取引開始ボタンを 押し、ATM画面に表示 されたQRコードを撮影</p>	 <p>暗証番号等 スマホに表示された 番号、暗証番号を 入力し、紙幣を受け取り</p>

## 決済・口座関連事業

■ デビット付きキャッシュカード発行開始

- ・ 7&iHLDGS各店舗をはじめ国内外のJCB  
加盟店で利用可能
- ・ ご利用に応じnanacoポイントを付与

<サービス概況：2016年12月末時点>

総発行枚数：8.9万枚

サービス認知向上を図り、口座の拡大  
決済金額の引き上げを目指す

<利用促進キャンペーン実施例>

**第2弾**

\ 大好評のデビット付きキャッシュカード! /  
とっておトクなキャンペーン第2弾



セブン-イレブンで

**デビット”Wチャンス”キャンペーン**

キャンペーン期間 2017年2月1日(水)～4月30日(日)

## 方針

連結配当性向は年間35%を最低目標に、年2回配当を実施

## 期末配当予想の修正

配当金額：1株当たり4.75円（配当総額約56億円）

期末配当予想を従来の4.25円より4.75円（年間9.00円）に増配

## 配当金、配当性向の推移

